

(令和7) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市祥豊) 児童館・学童保育所

	活動の基本目標(指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保	①月の予定・メール等での出欠確認	①年間予定で班帰り表を作成し、変更等の連絡があれば訂正を行った。記入漏れのないよう担当間で二重確認した。
		②手洗い・手指の消毒の徹底	②登館時やトイレ後は常に声掛けを行った。手荒れ等や家庭の方から消毒を行わない様うかがっている子に対しては、職員等で周知を行った。
	健康の管理・情緒の安定	③冷蔵庫・消毒	③職員等で行った。徹底して行っていきたい。
		④日常の衛生	④職員等で行った。徹底して行っていきたい。
	基本的生活習慣の確立	⑤小学校との情報共有(感染症について)	⑤小学校と情報共有を行った。今後も引き続き行っていきたい。
		⑥感染症予防のプリント配布	⑥保護者会や学童クラブ便りで保護者に周知した。
	社会生活技術の獲得		
子ども育成機能	生活体験の拡大	①自由遊び	①遊ぶ種類によって遊ぶ場所を提示し、環境を整えた。
		②みんな遊び	②遊ぶ内容を決めて集団遊びをした。配慮のいる児童も参加できるよう事前に職員の配置など話し合った。
	社会性の養成	③お誕生日会	③誕生日月の友達の成長をお祝いした。みんなでお祝いする気持ちを大切にしていきたい。
		④はじめましての会	④新入会児童に児童館のルールを1年生にもわかりやすいよう説明した。
	自立の促進と自主性の尊重	⑤入会式&歓迎会	⑤2年生以上で歌や児童館のルールやけん玉・ダンス・歌を披露し、1年生と交流をした。みんなで楽しく参加できた。
		⑥グループ活動	⑥グループのみんなと一緒に楽しく遊ぶことができた。
	⑦ハワイ大学との交流	⑦ハワイ大学の方と遊びを通して交流できた。	
子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供 と交換	①入会説明会	①入会児童保護者に京都市祥豊児童館の理念や基本方針・活動方針等、児童館事業について話をした。当日欠席の方については、別日を設けて登録者全員に周知できた。
		②保護者懇談会	②5月と3月に保護者会を行った。3月の懇談前に子どもたちの発表として「お楽しみ会」を設定した。
	子育ての仲間づくり	③個人懇談	③1年生と児童館で気になる児童を対象に個人懇談を行い、家の様子を聞くことによって、個々の対応を考えるきっかけになった。
		④さくらdaysの活用	④家庭との連絡手段や、学童クラブや毎月の子ども達の様子、配布プリントなどにもさくらdaysを活用できた。
	子育てを支えるネットワーク 形成	⑤配慮を要する児童の保護者面談	⑤保護者と密に連絡を取り合い、家での様子も聞いて対応する時に考慮した。
		⑥児童館と小学校との連携	⑥小学校と随時、情報交換を行った。小学校の祥豊フェスティバルにも職員が参加した。
	⑦学童クラブ担当者と小学校担任との連携	⑦7月・9月に小学校の担任と懇談を行い、配慮することなどを職員間で考えるきっかけとなった。	
	⑧児童館と児童相談所の連携	⑧今年度は該当がなかった。	
	⑨おたより交換	⑨小学校の週予定表をもらい、児童館の活動予定に活かしている。又、毎月学童クラブ便りを渡し児童館活動にも理解してもらった。	
	⑩保育園年長担任と学童クラブ担当との連携	⑩学童クラブ入会前に保育園から子どもの様子の情報をいただき、配慮する点などを知ることができた。	

(令和7)年度 学童クラブ事業年間活動報告書

(京都市祥豊)児童館・学童保育所

	活動の基本目標(指針)	主な取組名	成果と課題
生活援助機能	安全・衛生の確保	⑦登下館におけるセーフティー	⑦帰りの会や集団下館付き添いの時に毎日呼び掛けている。不審人物の情報を保護者より頂いた時は、小学校や警察に連絡、情報共有をし職員の付き添う範囲を広げた。
		⑧登下館における交通安全教室	⑧南警察署の方に交通安全に関する話をさせていただき、理解を深める事ができた。
	健康の管理・情緒の安定	⑨登下館の安全確保を呼びかけるプリントの配布	⑨夏休み前に配布。秋にも注意を呼び掛けた。
		⑩あいさつの習慣化	⑩挨拶はしっかりと出来るよう毎回子ども達に言葉掛けをした。
	基本的な生活習慣の確立	⑪ロッカー・おもちゃ等の整理整頓	⑪見本の写真を貼り、ロッカー内に個々の収納boxを設置し整理整頓の声掛けをした。個々に声掛けをするケースもあり、物を大切に育てる心をはぐくむようにしたい。
	社会生活技術の獲得	⑫登館からの流れを作る(1日の流れ・長期休業中の流れ)	⑫手洗い、消毒、登下館打刻、宿題、自由遊びなど同じ流れを定着させて、子ども達の自立につなげていきたい。
		⑬宿題をしよう	⑬自主的な学習習慣が身につくように声掛けをした。「分からないから教えて欲しい」だけではなく自分達で考えるよう促していきたい。
	子ども育成機能	生活体験の拡大	⑧親子行事
		⑨夏の工作	⑨今年度は「小物入れ」の製作をした。自分達で最後まで作る喜びを味わえた。
		⑩⑪⑫⑬夏の取り組み	⑩・⑪・⑫・⑬遊びを通じて体験ができるようにし、「マンカラ週間」「けん玉週間」「オセロ週間」として意欲的に取り組み、検定カードを使った。来年度も職員間で取り組み方等を検討していきたい。
社会性の養成		(マンカラ)(けん玉)(オセロ)(ソリティア)	
自立の促進と自主性の尊重		⑭修了式	⑭修了する友達をお祝した。
		⑮お楽しみ会	⑮クイズや歌やダンス、けん玉、縄跳びなど子ども達が発表したいことを募り練習をした。保護者の方にも来ていただき発表し1年間の成長をみんなで喜び合う時間を過ごした。
子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換	⑪児童の状況報告書記入	⑪個人記録を作成し、情報を職員間で共有する事ができた。
		⑫事前面談の実施	⑫新1年生で支援シートを持っておられる方を対象に事前に面談を行い、児童館で過ごす上での注意点などを保護者と確認をした。
		⑬保育園との連携	⑬通っていた保育園での様子や情報を教えて頂き、職員間で共有する事ができた。
	子育ての仲間づくり	⑭児童福祉センターへの報告	⑭今年度は該当がなかった。
		⑮職員間の共通理解(ケース会議)	⑮随時子どもへの共通の理解を図るため、行う事ができた。
	子育てを支えるネットワーク形成	⑯介助者とのケース会議	⑯当該児童についての話し合いと支援の在り方を検討する事ができた。
		⑰絵や図を用いたスケジュール説明	⑰毎日の流れを時系列に張り出し説明した。
		⑱写真で示す整理整頓	⑱片付け場所を分かりやすく写真を用いて示す事によって、子ども達の混乱がなくなった。
		⑲児童相談所との連携	⑲今年度は該当がなかった。
		⑳保護者との連携(配慮を要する児童の保護者)	⑳日頃より該当保護者と連絡を密にし、児童や保護者の抱えている負担を少しでも減らしていくようにした。
	㉑小学校との連携(外国語児童)	㉑今年度は該当がなかった。	

(令和7)年度 学童クラブ事業年間活動報告書

(京都市祥豊)児童館・学童保育所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合計	内容
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中高生	大学生	大人			
(1)生活援助機能															
①月の予定・さくらdays等での出欠確認	292	542	434	276	240	156	72	0	0	0	0	0	0	1,720	①年間の予定で事前に出欠、帰り方の確認をする。変更は随時連絡をもらう。
②手洗い・手指の消毒の徹底	292	501	386	250	130	93	53	0	0	0	0	0	0	1,413	②通年で声掛けをしている。流行性感染症が出た場合は、特に徹底する。
③冷蔵庫・消毒	292	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	③職員間で冷蔵庫の整理をし、消毒を徹底して行う。
④日常の衛生	292	501	386	250	130	93	53	0	0	0	0	0	0	1,413	④館内やおもちゃの消毒を徹底して行う。
⑤小学校との情報共有(感染症について)	292	542	434	276	240	156	72	0	0	0	0	0	0	1,720	⑤流行性感染症が出た場合、お互いに連絡を取り合い対応する。
⑥感染症予防のプリント配布	6	273	218	138	120	78	36	0	0	0	0	0	0	863	⑥プリントを配布し、対策や処置方法を説明する。
⑦登下館におけるセーフティー	292	501	386	250	130	93	53	0	0	0	0	0	0	1,413	⑦帰りの会時に寄り道をしない、ふざけないなど毎日呼び掛ける。
⑧登下館における交通安全教室	4	171	137	90	61	43	21	0	0	0	0	0	0	523	⑧南警察署の方に交通安全に関する話をして頂き、理解を深める。
⑨登下館の安全確保を呼びかけるプリントの配布	7	322	259	161	140	91	42	0	0	0	0	0	0	1,015	⑨夏休み前に配布。秋にも注意を呼び掛けている。
⑩あいさつの習慣化	292	501	386	250	130	93	53	0	0	0	0	0	0	1,413	⑩挨拶はしっかりと出来るよう毎回子ども達に言葉掛けをする。
⑪ロッカー・おもちゃ等の整理整頓	292	501	386	250	130	93	53	0	0	0	0	0	0	1,413	⑪見本の写真を貼り、整理整頓ができるよう声掛けをする。
⑫登館からの流れを作る(1日の流れ・長期休業中の流れ)	292	501	386	250	130	93	53	0	0	0	0	0	0	1,413	⑫検温、手洗い、消毒、さくらdays、宿題、自由遊びなど同じ流れを定着させる。
⑬宿題をしよう	292	501	386	250	130	93	53	0	0	0	0	0	0	1,413	⑬自主的な学習習慣が定着する。
(2)子ども育成機能															
①自由遊び	292	501	386	250	130	93	53	0	0	0	0	0	0	1,413	①自主的に遊びを展開できる環境を整える。
②みんな遊び	13	362	257	153	56	70	8	8	0	12	0	0	0	926	②月に一度全員で集団遊びを楽しんでいる。
③お誕生日会	12	366	213	220	135	22	18	0	0	3	1	2	0	980	③お誕生日の子の友達の成長を祝い、質問やプレゼント渡しをして楽しい雰囲気作りをする。
④はじめましての会	1	35	25	11	12	8	2	0	0	0	0	0	0	93	④学童のルール説明をし、1年生に児童館を知ってもらう。
⑤入会式&歓迎会	1	32	34	18	10	12	2	0	0	0	0	0	0	108	⑤2年生以上で歌や児童館のルール、けん玉を披露し、1年生と交流をし仲間意識を育てる。
⑥グループ活動	3	65	21	35	7	7	1	0	0	12	0	0	0	148	⑥グループでみんな遊びをする。
⑦ハワイ大学との交流	1	0	26	14	7	7	0	0	0	0	0	0	23	77	⑦ハワイ大学の学生さんとドンジャンけんやダンスをして交流する。
⑧親子行事	2	11	8	5	1	2	1	10	4	0	0	1	15	58	⑧親子で児童館のおもちゃで遊んだり、京都の伝統工芸の螺細づくりを体験する。
⑨夏の工作	10	43	35	22	19	10	2	0	0	0	0	0	0	131	⑨「小物入れ」の製作を通して、自分のオリジナル作品を作る喜びを味わう。
⑩夏の取り組み(マンカラ)	5	117	122	64	40	30	4	0	0	0	0	0	0	377	⑩子ども達が遊びを通じて体験ができるようにし、「検定カード」を使って意欲的に取り組めるようにする。
⑪夏の取り組み(けん玉)	7	142	120	59	43	20	3	0	0	0	0	0	0	387	⑪(同上)
⑫夏の取り組み(オセロ)	6	136	118	63	55	35	6	0	0	0	0	0	0	413	⑫(同上)

⑬夏の取り組み(ナンプレ・ソリティア)	12	9	26	38	13	23	2	1	0	2	0	0	0	114	⑬(同上)
⑭修了式	1	30	21	14	3	3	0	5	14	0	0	0	0	90	⑭修了する友達をお祝いする。
⑮お楽しみ会	1	7	3	3	0	0	0	37	10	0	0	0	51	111	⑮クイズや縄跳び、歌、けん玉、ダンスなどを披露し保護者にも1年間の成長を見てもらう。
⑯がんばった会	1	30	21	14	3	3	0	5	15	0	0	0	0	91	⑯けん玉、アサラト、ダンスを発表したい子を募り、みんなで楽しい時間を過ごす。
(3)子育て支援機能															
①入会説明会	6	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	79	81	①2月に新入会児童保護者に説明会を実施する。
②保護者懇談会	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	55	②懇談では児童館理念、基本・活動方針や学童クラブについて、避難経路、災害時の非常措置、感染症防止、安全対策、感染症対策を説明する。5月は年間計画、3月は年間報告を話し、児童館を知ってもらい子ども達の様子を保護者に伝える。
③個人懇談	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	55	③1年生と児童館で気になる児童を対象に個人懇談を行う。
④さくらdaysの活用	292	501	386	250	130	93	53	0	0	0	0	0	0	1,413	④家庭との連絡の手段として活用している。
⑤配慮を要する児童の保護者面談	292	9	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	17	⑤保護者と密に連絡を取り合っている。
⑥児童館と小学校との連携	292	501	386	250	130	93	53	0	0	0	0	0	0	1,413	⑥随時、学校・児童館・児童の様子を中心に情報交換を行う。
⑦学童クラブ担当者と小学校担任との連携	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	14	⑦担任の先生と子どもの情報交換を行う。(定期7月、随時)
⑧児童館と児童相談所の連携	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	⑧必要に応じて随時、情報交換をする。
⑨おたより交換	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	12	⑨学級ごとの週の予定表をいただいている。又、月1回学童クラブ便りを交換する。
⑩保育園年長担任と学童クラブ担当者との連携	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	17	20	⑩入会前に保育園から子どもの様子の情報を頂いている。
⑪児童の状況報告書記入	292	501	386	250	130	93	53	0	0	0	0	0	0	1,413	⑪個人記録を作成し、情報を職員間で共有する。
⑫事前面談の実施	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	15	⑫支援シートを持参していただき、保護者と面談する。
⑬保育園との連携	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	12	⑬通っていた保育園での様子(情報)を共有する。
⑭児童福祉センターへの報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	⑭必要に応じて随時、情報交換をする。
⑮職員間の共通理解(ケース会議)	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	60	⑮随時子どもへの共通の理解を図るため行う。
⑯介助者とのケース会議	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	120	120	⑯当該児童についての話し合いと支援の在り方を検討する。
⑰絵や図を用いてのスケジュール説明	292	501	386	250	130	93	53	0	0	0	0	0	0	1,413	⑰行事の前に、図を用いて時系列で流れを説明する。
⑱写真で示す整理整頓	292	501	386	250	130	93	53	0	0	0	0	0	0	1,413	⑱片付け場所を分かりやすく写真を用いて示す。
⑳児童相談所との連携	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	⑲必要に応じて随時、情報交換をする。
㉑保護者との連携(配慮を要する保護者)	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	108	108	⑳日頃より該当保護者と連絡を密にする。
㉒小学校との連携(外国語児童)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	㉒必要に応じて随時、情報交換をする。

*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること

*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること